



自動販売機も冬支度完了。暖かい缶コーヒーがインドネシア人実習生の皆さんに大人気です。

12月に入り、現在あじけんには、ベトナム・インドネシア・タイ・フィリピンと、東南アジア諸国からの実習生の皆さんが多数在籍しています。初めて経験する日本の厳しい寒さと戦いながら、「ヒーター」「とうゆ」「ポリタンク」「ポンプ」等の日本の冬の生活には欠かすことが出来ない単語を、次々に覚えていく実習生の皆さんの逞しさには頭が下がります。新しい環境にもスムーズに順応出来ており、寒さに負けず、元気に日本語学習に励んでいます！

今月からは「うがい」「てあらい」「かんき」等の言葉をキーワードに、冬場の健康管理・風邪対策にも、引き続き取り組んでいます。

あじけん日本語講師ファイル

Vol.10: 谷田貝 優子



今まで私は小学生から高校生までに「教える」という教育関係の仕事に携わってきました。3年前に「あじけん」に来て、初めて外国人に「教える」という経験をし、今に至っています。この仕事は、普段何気なく使っている日本語ですが、実習生との触れ合いの中で日本語の新しい発見があったり、実習生から国の様子を聞くことが出来たりします。このようにとてもやり甲斐があって、魅力ある仕事だと感じています。

これからは日本の生活習慣や文化・歴史などを幅広く教えていきたいと思っています。

Q1 これまで教えた中でいちばん印象に残っている実習生は？

中国から来日した包さんという実習生です。初日の会話テストでは日本語がほとんど通じず、Eレベル(5段階評定で最低のレベル)の評価を受けましたが、毎晩寮での勉強に励み、友達の協力もあって、講習修了時に行なった会話テストでは2段階アップのC判定を受け、まさに伝説の「包さん」です。

Q2 当校の日本語指導において最も大切にしていることは？

実習生との信頼関係を常に大切にし、日本語に自信を持たせて送り出したいです。そして、より良い日本語講師目指して、日々努力していきたいと思っています。

今月の実習生



今月はベトナム人実習生のトンさんを紹介します。トンさんは、たいへんな努力家で、あじけんでの日本語学習と平行して、ほぼ独学で漢字を学習し、非漢字圏からの実習生にも関わらず、既に200字ほどをマスターしています。授業で扱った約20個の漢字表記の四文字熟語(「立入禁止」等)の読み方も、完璧に覚えてしまいました。今回の取材で、1番好きな漢字を書いてくださいと頼んだところ、左の「両親」という漢字を書いてくれました。

「かんじをおぼえると こうこくとか、カンパンのいみがわかるから、とてもべんりです。かんじのべんきょうは、むずかしいですが おもしろいです。これからも がんばります。」

DANG VAN THONG

ベトナム社会主義共和国出身
DANG VAN THONG さん (トンさん)

あじけん流日本語授業

～個別会話練習～

今月は、実習生間の会話力の差に配慮した「個別会話練習」の実践例をご紹介します。この活動は、主に1日の授業の最後の20分間を利用して行なわれます。

まず、講師は、クラスの中で会話力の定着が遅れがちな実習生を2～3名選んで、教室の空きスペースに作った会話コーナーに集めます。そして、そこで20分程度の会話練習を行ないます(写真1)。内容は特に決められておらず、実習生の興味や関心が高そうなものの中から、習熟度に応じたレベルの物が選ばれます。その間、他の実習生は、感想シートにその日の学習内容と感想を記入します(写真2)。この感想シートは最後に講師が回収し(写真3)、単語の使い方や文法表現に間違いがあれば、適時フィードバックが施され、翌朝には本人に返却されます。この個別会話練習は、大人数クラスにおいて、特に実習生間の習熟度の差が顕著な時に、積極的に用いられており、会話力の定着が遅れがちな実習生の会話力の向上に大きな成果を上げています。



写真1：教室の空きスペースを利用して臨時会話教室！



写真2：感想シートの記入



写真3：感想シートの回収